

# mc<sup>2</sup>36 xp



SMALL FOOTPRINT  
WELL CONNECTED



NIFTY  
NATIVE  
NETWORKED

# mc<sup>2</sup>36 xp

SMALL FOOTPRINT – WELL CONNECTED



# mc<sup>2</sup>36 xp

## SMALL FOOTPRINT – WELL CONNECTED

LAWO のオーディオプロダクションコンソール mc<sup>2</sup> (エムシースクエア) シリーズに、このたび新たに加わった mc<sup>2</sup>36 xp。サーフェイスデザインは mc<sup>2</sup>36 mkII と変わりませんが、mc<sup>2</sup>36 xp は A\_\_UHD CORE を使用することによって最大 256DSP チャンネルをサポートし、IP ネットワークシステムにおける冗長性と、マルチスライスコンソールアレイを提供します。オーディオクオリティに定評のある mc<sup>2</sup> シリーズ、もちろん mc<sup>2</sup>36 xp もシリーズの他の製品と同様の音質を提供します。

mc<sup>2</sup>36 xp は、スペースに制限のあるベニューや中継車、プロダクションハブ内のオーディオスイートにおいて、LAWO の一貫したコンソールデザイン・ユーザーエクスペリエンスの恩恵を得たいと考える皆様の期待にお応えします。

mc<sup>2</sup>36 xp は 1 台の A\_\_UHD Core の DSP を、最大 7 台のバーチャルまたは物理コンソールサーフェイスと共有することが可能で、費用対効果に優れた高品位なオーディオプロセッシングを実現することができます。

※ オプションの Pooling 8 ライセンスが必要

mc<sup>2</sup>36 xp は mc<sup>2</sup> シリーズ共通の人間工学に基づいてデザインされており、mc<sup>2</sup> 56 や mc<sup>2</sup> 96 と同じグレードのコントロールとタッチスクリーンを装備しています。サーフェイスも mc<sup>2</sup>36 mkII と同様に 16、32、48 フェーダーの 3 種類が用意され、ローカル I/O も MIC/Line 入力 × 16、Line 出力 × 16、AES 入出力 × 8、GPIO × 8、MADI ポート (SFP タイプ) × 1 がバックパネルに装備されています。

mc<sup>2</sup>36 xp は、最先端のイマーシブ・オーディオ・ミキシング、関連するすべての IP 規格 (ST2110、AES67/RAVENNA、ST2022-7) に対応しています。LAWO の HOME にネイティブに対応しており、HOME でマネージメントされる他の mc<sup>2</sup> コンソールとの間に、シームレスなプロダクションファイルの互換性を提供します。



# mc<sup>2</sup>36 xp

## OVERVIEW

### AT A GLANCE

- I/O 内蔵、LAWO グレードのマイクプリアンプ搭載
- 16/32/48 フェーダー搭載フレーム
- 256 DSP チャンネル
- 48 kHz & 96 kHz オペレーション
- HOME ネイティブ - アナログのように簡単な IP 設定
- 関連するすべての IP 規格にネイティブ対応：SMPTE ST2110、AES67、RAVENNA、Ember+、NMOS\* A

### HIGH PERFORMANCE FADERS

mc<sup>2</sup>36 xp は mc<sup>2</sup>56 と同様に防塵型の長寿命高性能フェーダーを備え、スムーズで正確なフェーダーを、長期にわたって提供します。

## THE POWER OF DENSITY

mc<sup>2</sup>36 xp は、同シリーズが誇るクオリティを一切妥協することなく追求しています。卓越したオーディオ品質と、高い評価を得ている LAWO の信頼性と使いやすさを、狭い場所にも対応できるよう小さな設置面積で組み合わせられています。16 フェーダーの OBトラック・バージョンの幅はわずか 765 mm というこのコンソールは、限られたスペースで高いパフォーマンスが求められる、あらゆる設備に最適です。48 フェーダーの OBトラック・バージョンでも、デュアルフェーダー設計により、わずか幅 1275 mm のサイズとなっています。

## CONSISTENT COLOR CODING

TFT は、Button Glow とタッチセンサー式カラーエンコーダーに加え、チャンネルストリップの色分けを可能にし、暗い場所でも可視性が向上し、迅速なアクセスが可能です。



# mc<sup>2</sup>36 xp

## INTERACTION

### A PERFECT SYMPHONY OF HARDWARE & SOFTWARE CONTROLS

mc<sup>2</sup>36xp の独自のデザインは、エンジニアの視野を損なうことのない大型画面と低いオーバーブリッジの高さを組み合わせた、人間工学に基づいた外形を提供します。このコンソールの超精密な 21.5 インチのフルHD タッチスクリーンは、タッチセンサー式カラーロータリーエンコーダーと連動して機能します。イコライザーエンコーダーをタッチすると、自動的にイコライザーウィンドウが表示され、パラメータを調整した後、auto-close 機能によりウィンドウが閉じるので、復元のための追加操作は必要ありません。





15:06

Production Late Night with Henry  
Snapshot Intro

CMR 1/2

## SUPER-PRECISE HD TOUCHSCREENS

mc<sup>2</sup>36xp は、最先端の静電容量式 21.5 インチフル HD タッチスクリーンを搭載し、機械的にも壊れにくい設計になっています。

## TOUCH-SENSITIVE COLOR-CODED ENCODERS



# mc<sup>2</sup>36 xp

INTERACTION

INPUT METERING

COLOR CODING







## CUSTOMIZABLE FADER USER BUTTONS

## LiveView™ VIDEO LABELS

チャンネル番号や個別のテキストラベル、静止画またはアイコンを使用する標準のチャンネル・ラベリングに加え、mc<sup>2</sup>36xp は、mc<sup>2</sup> 96 の LiveView™ ビデオサムネイルを継承し、より直感的なチャンネル識別を可能にします。フェーダーにタッチするだけで、LiveView™ サムネイルがフルスクリーンモードに切り替わり、そのチャンネルのビデオソース（カメラまたはリプレイマシンなど）の詳細な表示が可能です。



# mc<sup>2</sup>36 xp

## OVERBRIDGE



### INTEGRATED LOUDNESS METERING

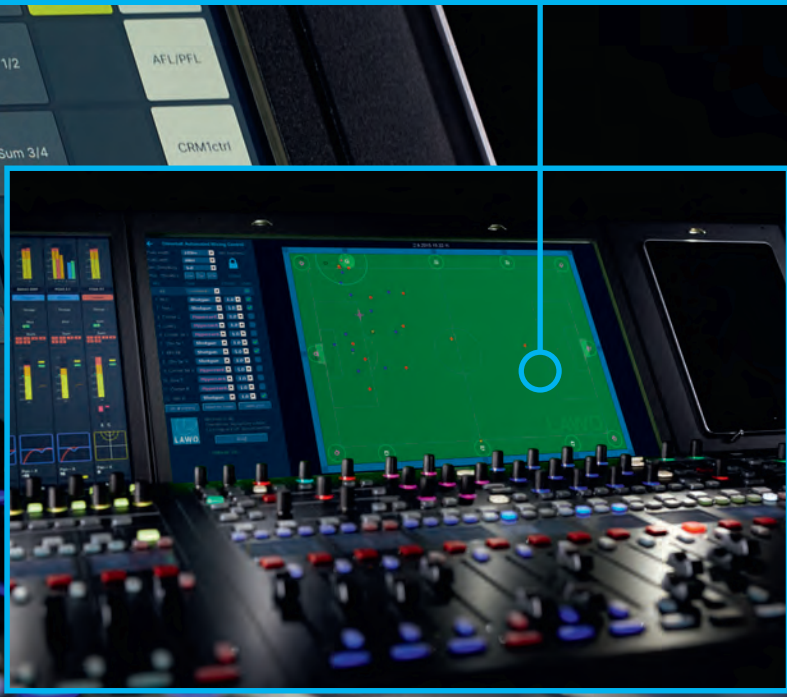
もともと放送用途に開発されたこの機能は、LAWO は内蔵のラウドネス・メータリングをライブや劇場等の用途にも役立つツールへと発展させました。これは ITU1770 (EBU/R128 または ATSC/A85) に準拠したラウドネスコントロールを提供するもので、ピーク/ラウドネスを個別にまたは組み合わせて使用できるのが特徴です。またこのラウドネス・メータリングは SUM 以外に個別チャンネルも計測することができ、これによってバックグラウンド・シンガーやブラス・セクションやストリングスやコーラス用マルチ・マイク・セットアップなどで、素早く便利な「視覚的」ミキシングを行うことができます。





## REMOTE DESKTOP

LAWO のインテグレーションされたリモートデスクトップ機能は、サードパーティー製のソリューションを実行する複数の外部 PC やオーサリングツールの設定を、コンソールのユーザーインターフェイスにシームレスに統合することができます。ボタンを押すだけで、外部 PC (またはプロセッサ) とそのソフトウェア・アプリケーションがコンソールの画面に表示され、コンソールのキーボード、タッチパッド、タッチスクリーンが包括的なコントロールを提供します。外部レコーディングシステム、エフェクトエンジン、その他のユーザーインターフェイスをシームレスに統合することで、より少ない機材で、エンジニアは中央のスイートスポユーザーインターフェイス全体をコントロールすることができます。



## CUSTOMIZABLE OVERBRIDGE VIEWS

本コンソールのオーバーブリッジは、チャンネル表示を適宜調整することで、お客様のご要望に対応することができます。重要なパラメータを選択して表示し、不要なパラメータは非表示にするだけです。メータリングは、すべてのフェーダーレベルを HD ディスプレイに永続的に表示します。また、マルチローメーターを使えば、他のレイヤーやバンクからの信号も永続的にメーター表示することができます。



# mc<sup>2</sup>36 xp

CONNECTIVITY

## HOME

IP ネイティブデバイスである mc<sup>2</sup>36 には、LAWO の HOME 機能が搭載されており、IP セットアップをアナログと同じくらい簡単に行うことができます。このコンソールは自動的にデバイスを検出し、ボタンを押すだけで利用できるようにします。デバイス管理には、アクセス制御や不明なデバイスの隔離など、必要とされるセキュリティ機能が含まれています。HOME は、ライブ制作環境のあらゆる側面とインスタンスを接続、管理、保護、処理するために設計された IP ベースのメディアインフラストラクチャの管理プラットフォームです。

## RAVENNA について

RAVENNA は、IP ベースのネットワーク環境でオーディオやその他のメディアコンテンツをリアルタイムに配信するための技術です。標準のネットワークプロトコルとネットワークテクノロジーを使用することで、RAVENNA は既存のネットワークインフラストラクチャ上で動作します。

RAVENNA は、低遅延、信号のトランスペアレンシー、高い信頼性を特徴としており、主に放送局を対象としています。ライブサウンドやレコーディングなどのその他のプロオーディオアプリケーションにも適しています。放送局、劇場、コンサートホールなどの施設内信号配信、会場やライブイベントでの柔軟な設定、中継車のサポート、WAN 接続を介した施設間リンク、および制作・録音アプリケーションで利用できます。RAVENNA はオープンな技術標準であり、AES67/SMPTE2110-30 に完全に準拠しています。





## LOW-NOISE DESIGN

このコンソールは低消費電力を最適化しており、低回転のファンを使用して冷却を行います。これは特に、ファンの騒音が気になる静かな制御室などの環境において重要です。

## COMPREHENSIVE ONBOARD I/O

mc<sup>2</sup>36 は、LAWO グレードのマイク / ライン入力 x16 系、ライン出力 x16、AES3 入出力 x8 系統、GPI/O x8 系統、および SEP をローカル MADI アウトを備えた包括的なローカル I/O を提供しています。

# mc<sup>2</sup>36 xp

SMALL FOOTPRINT – WELL CONNECTED



mc<sup>2</sup>36 xp



mc<sup>2</sup>36



– 16-fader Version

– 32-fader Version

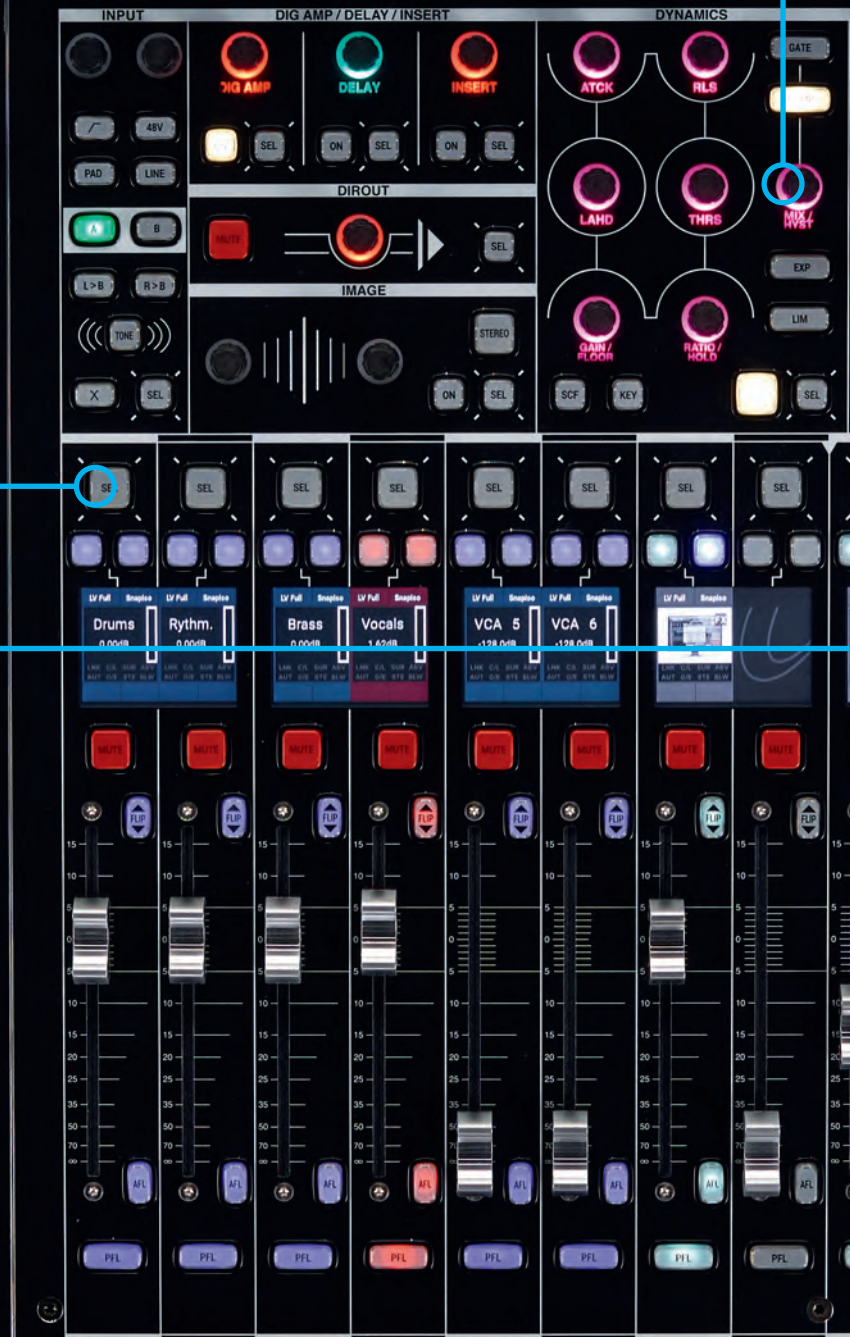


**mc<sup>2</sup>36xp – 48-fader Version**  
The compact 32-fader chassis with 16 additional 60mm faders in a dual-fader arrangement.



# mc<sup>2</sup>36 xp

## CENTRAL CONTROL SECTION







## INTUITIVE MONITORING

GUIのモニタリングセクションは、アクセスしやすく、拡張された柔軟性、またユーザーの要件に容易に適應できるように再設計されました。

## IMMERSIVE BY NATURE

mc²36xpは、イマーシブオーディオミキシングの優れたツールだけでなく、標準の高度コントローラも提供します。これにより、mc²36xpはMPEG-HやDolby Atmos®などの次世代オーディオフォーマットや、ライブサウンドアプリケーションでのイマーシブミキシングに対応した将来性のあるコンソールとなります。



## AUDIO-FOLLOWS-VIDEO

mc²36xpのAudio-follows-video機能により、自動的なトランジションと映像と音声の完璧な連動が実現。各カメラのタリーはイベントに割り当てられ、255のイベントで1つまたは複数のチャンネルで選択できます。Rise-Time、On-Time、Hold-Time、Max Time、そしてFall-Timeパラメータを使用して処理のエンベロープを設定し、カメラからカメラへのスムーズで自然なトランジションを作成できます。



# mc<sup>2</sup>36 xp

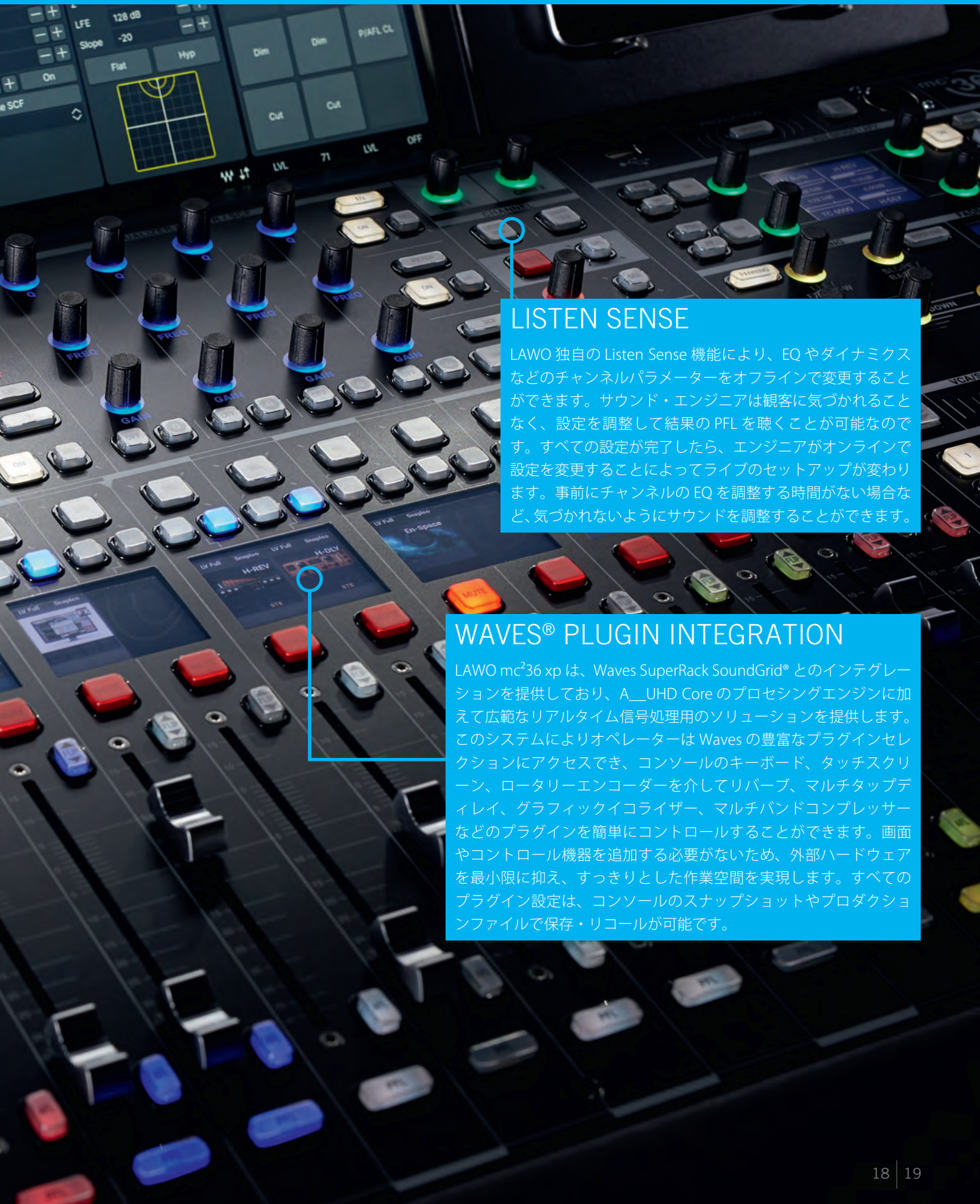
## FEATURES

### AUTOMATED MIXING ASSISTANTS

mc<sup>2</sup>36 xpの自動ミキシング機能には、自然なアンビエントレベルを一定に保ちながら、アクティブ・マイクとインアクティブ・マイクのレベルを自動で調整できるオートミックス機能があります。この機能は、特に複数のプレゼンターやフォーマーが参加するライブプロダクションでユニークな機能を提供します。オートミックスは、モノラル、ステレオ、マルチサラウンドチャンネルなど、あらゆる信号に対して使用でき、サウンドのカラーレションを低減してバックグラウンドノイズやクロストークを最小限に抑えます。トランケートセンテンス (truncated sentence) や、フェードインが遅れたりすることがなくなり、サウンド・エンジニアは全体のバランスと音質に集中することができます。また、このコンソールには、イマーシブオーディオからサラウンド、ステレオ、モノラルへのダウンミックス機能を搭載しています。さらに、mc<sup>2</sup>36 xpは、サッカーやホッケーなどのスポーツ向けのLAWOの自動クロスボール・ミキシング・ソリューションであるKICK 2.0にも設定されています。







## LISTEN SENSE

LAWO 独自の Listen Sense 機能により、EQ やダイナミクスなどのチャンネルパラメーターをオフラインで変更することができます。サウンド・エンジニアは観客に気づかれることなく、設定を調整して結果の PFL を聴くことが可能です。すべての設定が完了したら、エンジニアがオンラインで設定を変更することによってライブのセットアップが変わります。事前にチャンネルの EQ を調整する時間がない場合など、気づかれないようにサウンドを調整することができます。

## WAVES® PLUGIN INTEGRATION

LAWO mc<sup>2</sup>36 xp は、Waves SuperRack SoundGrid® とのインテグレーションを提供しており、A\_\_UHD Core のプロセッシングエンジンに加えて広範なリアルタイム信号処理用のソリューションを提供します。このシステムによりオペレーターは Waves の豊富なプラグインセレクションにアクセスでき、コンソールのキーボード、タッチスクリーン、ロータリーエンコーダーを介してリバーブ、マルチタップディレイ、グラフィックイコライザー、マルチバンドコンプレッサーなどのプラグインを簡単にコントロールすることができます。画面やコントロール機器を追加する必要がないため、外部ハードウェアを最小限に抑え、すっきりとした作業空間を実現します。すべてのプラグイン設定は、コンソールのスナップショットやプロダクションファイルで保存・リコールが可能です。

# mc<sup>2</sup>36xp

## SIGNAL PROCESSING

### POWERED BY LAWO'S MIGHTY A\_\_UHD CORE

他のコンソールとは異なり、mc<sup>2</sup>36xpの外部処理エンジンであるA\_\_UHD Coreは、すべてのチャンネルが使用中であっても品質に妥協せず、常に完全に独立したアルゴリズムを提供します。LAWOはすべてのコンソールでSnapshotの互換性を提供し、mc<sup>2</sup>36xp、mc<sup>2</sup>36 MkII、mc<sup>2</sup>56、さらにはmc<sup>2</sup>96コンソール間でプロダクションファイルを交換できるようにします。

mc<sup>2</sup>コンソール全般と同様に、ユーザーはすべてのDSPモジュールの順序を制限なく簡単に再配置でき、創造的な自由を与え、コンソールの汎用性を広げます。オプションのPooling8ライセンスを利用すれば、最大8台のmc<sup>2</sup>シリーズコンソール（mc<sup>2</sup>36xpなど）とヘッドレスミキサーを1つのA\_\_UHD Coreに接続できます。

1

#### INMIX

Inmixモジュールは、アナログおよびデジタルソースのゲイン、バランス、ローカットフィルター、M/Sデコーダーなどのプリアンプを制御します。

2

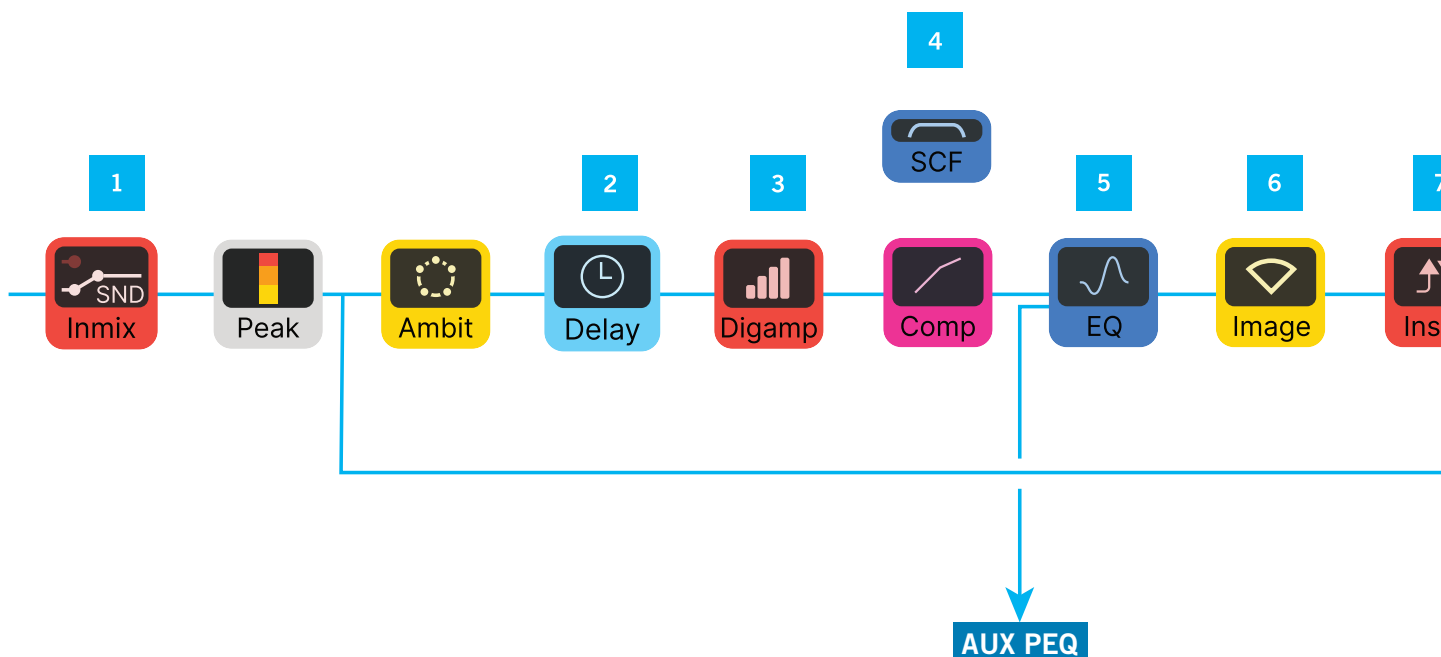
#### DELAY

LAWOのDelayモジュールは、最大1.8秒までのクリックレス・ディレイを提供し、ライブ制作中でも聞きとれないレベルのディレイ調整を可能にします。アプリケーション固有の設定により、遅延をメーター間で切り替えることができ（ライブPAシステムの遅延補正）、ミリ秒およびフレーム間で切り替えることができます（放送用）。

3

#### DIGIAMP

DigiAmpは、チャンネル内の増幅を変更するための追加モジュールです。





#### 4 DYNAMICS

5つの独立したダイナミックモジュールがあります：ゲート、エキスパンダー、コンプレッサー、ディーサー、およびリミッター。これらは、チャンネルのシグナルチェーンのどこにでも独立して配置できます。すべてのダイナミックモジュールは非常に精密であり、音に不要な色調を追加しません。調整可能な「先読み」機能により、大きなダイナミック変化があっても、ソースの音の特性を保持します。リミッターは高品質のブリックウォールリミッターとして使用できます。

#### 5 EQ

各コンソールには、独立した3つのEQモジュールも提供されています：EQ、フィルター、およびサイドチェーンフィルター。EQは4バンドの完全パラメトリックです。2バンドのフィルターモジュールは、EQから独立して、たとえばダイレクトアウトの前など、シグナルチェーンのどこにでも配置できます。さらに、2バンドのサイドチェーンフィルターをゲートまたはコンプレッサーに適用することもできます。

#### 6 IMAGE

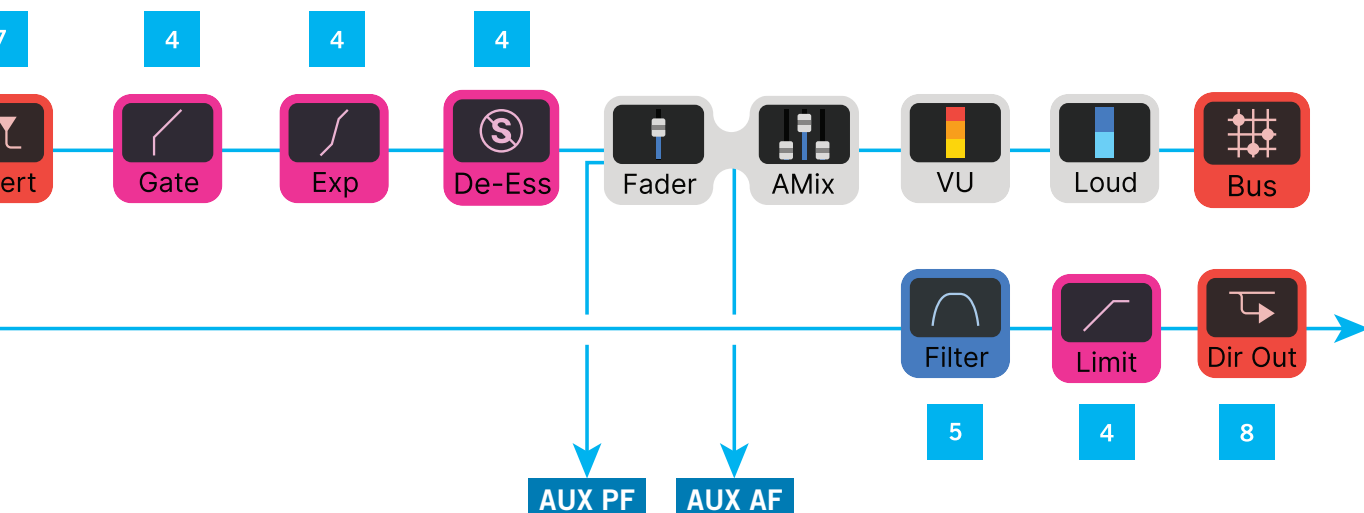
Image機能は、ステレオイメージと「向き」を細かく調整できます。これはAmbienceマイクでパンoramaを広げたり、ステレオ効果を失うことなく同じミックス内で複数のステレオソースを配置および結合したりするために使用できます。

#### 7 INSERT

インサートは、チャンネルの遅延に影響を与えることなく、いつでもアクティブ化できます。

#### 8 DIRECT OUT

ダイレクトアウトモジュールにはミュートと調整可能な出力が含まれています。すべてのモジュールは自由に割り当てることができます。たとえば、リミッターや2バンドのフィルターを録音用のダイレクトアウトバスに割り当てても、メインミックスに影響を与えることはありません。



# mc<sup>2</sup>36 xp

## APPLICATIONS

### HIGHLIGHTS FOR BROADCAST

- 関連 IP 規格 (ST2110、AES67、RAVENNA) をネイティブサポートする IP ベースのインフラ
- 先進のミックスアシストシステム (Automix、アップミックス、ダウンミックス、KICK 対応)
- 256 DSP チャンネル、96 サミングバス、96 AUX バスという処理容量
- 48 kHz および 96 kHz 動作
- 包括的な Audio-Follow-Video 機能
- LiveView™ ビデオサムネイル
- 3D/イマーシブミキシングツール搭載
- パラレルコンプレッション
- ラウドネスメータリング搭載
- 大規模な制作向けの強化された信号管理機能 (スワップとリロケートを含む)

### HIGHLIGHTS FOR RECORDING & STREAMING

- LAWO グレードのマイクプリアンプとプロセッシングアルゴリズム
- マシン / DAW のリモートコントロール
- Merging OASIS の統合
- 独立した 4 つのダイナミクスモジュールを持つカスタマイズ可能な信号経路
- クリックノイズなしのディレイ調節
- パラレルコンプレッション
- 超低騒音のコンソールデザイン

### HIGHLIGHTS FOR PERFORMING ARTS

- セレクティブリコール
- オーバースナップ (相対トリムセット)
- 複数のトリガーを含む包括的なシアターオートメーションのキューリスト (MIDI、GPIO、LTC 等)
- Waves® プラグインの統合
- ワークフローに合わせて機能のカスタマイズが可能
- クリックノイズなしのディレイ調節
- A/B/C 入力切替
- カスケード接続された / 入れ子にした VCA
- 「視覚的」ミキシングが行える内蔵ラウドネスメータリング



# ASSOCIATED PRODUCTS

## HIGH-QUALITY IP AUDIO I/O NODES

### A\_\_stage64 – WAN-capable Audio-to-IP Stagebox



- 19 インチ /4RU フレーム
- Mic/Line In×32、Line Out×16、AES3 In/Out×8、MADI×1、GPIO×8、Wordclock
- 1 GbE IP ストリーミングポート ×2 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA
- オンボード WAN 機能

### Power Core<sup>Gateway</sup> – Modular IP Audio I/O Node



- 19 インチ /1RU フレーム
- モジュール式の入出力カードを介する入出力チャンネル ×64 : Mic/Line In、Line Out、AES3 In/Out、Dante、MADI、GPIO、Studio
- MADI 入出力チャンネル ×64
- 1 GbE IP ストリーミングポート ×2 (ST2022-7 クラス C)
- ST2110、AES67、RAVENNA
- オンボード WAN 機能

### A\_\_mic8 – High-quality Analog-to-IP Node



- 19 インチ /1RU フレーム
- Mic/Line In×8、Line Out×4、GPIO×8、Wordclock
- 1 GbE IP ストリーミングポート ×2 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA

### A\_\_digital64 – AES3 Digital-to-IP Node



- 19 インチ /3RU フレーム
- AES3 In (SCR 搭載) ×32、AES3 Out ×32、MADI×1、GPIO×8、Wordclock
- 1 GbE IP ストリーミングポート ×2 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA

### A\_\_madi6 – MADI-to-IP Node



- 19 インチ /1RU フレーム
- 独立した MADI/IP ブリッジ ×3 : MADI×6、1 GbE IP ストリーミングポート ×6 (ST2022-7 クラス C のポートとネットワークのリダンダンシー)、Wordclock
- PTP ↔ Wordclock 変換
- ST2110、AES67、RAVENNA

### V\_\_pro8 – 8-Channel Video Processing Toolkit



- 19 インチ /1RU フレーム
- リダンダント電源
- SDI in×8、SDI out×8、MADI×2、1GbE×1
- エンベッダー / ディエンベッダー、フレームシンク、オーディオ & ビデオディレイ、Dolby® E Auto Aligner、Dolby® E エンコーディング / デコーディング、LiveView サムネイル、シンクジェネレーター、タイムコードジェネレーター、AV 同期計測、サラウンドダウンミックス等

## AUDIO/VIDEO PROCESSING (SDI)

### .edge – Hyper-Density SDI/IP Conversion and Routing Platform



- 19 インチ /2RU フレーム
- SDI 機材用高密度 IP 変換
- 最大 192 系統の SDI 入出力、MADI 機能付き\*
- SD/HD/UHD との間の柔軟なシャッフルリング、エンベッディング / ディエンベッディング
- オンボード WAN 機能

\*) Q4/2023 年第 4 四半期にリリース予定

# mc<sup>2</sup>36 xp

## SPECIFICATIONS

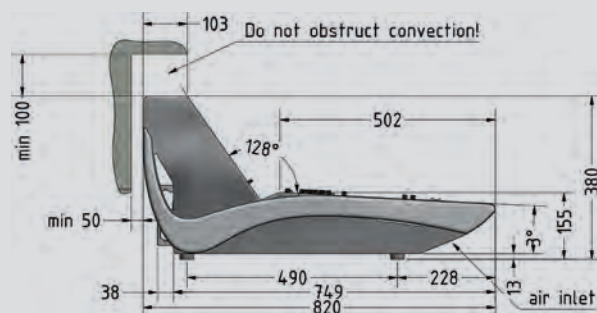
### mc<sup>2</sup>36 xp



765<sup>±1.5</sup> (OB Truck version)

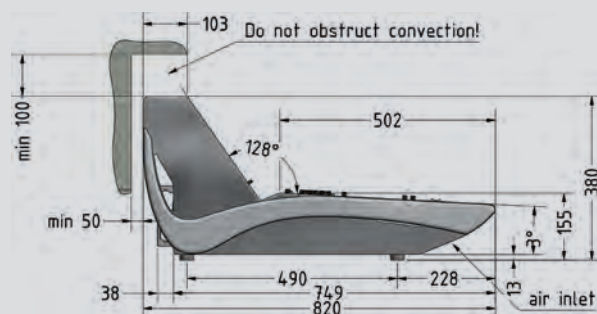
833<sup>±1.5</sup> (Studio/Live version)

### STUDIO/LIVE VERSION



1275<sup>±1.5</sup> (OB Truck version)

1343<sup>±1.5</sup> (Studio/Live version)



### 16 フェーダーのスタジオ / ライブ向けバージョン

- 寸法 : 833×820×380 mm / 32.8×32.3×15.0"
- 重量 : 38 kg / 83.4 lbs

### 32 フェーダーのスタジオ / ライブ向けバージョン

- 寸法 : 1343×820×380 mm / 52.9×32.3×15.0"
- 重量 : 54 kg / 119.1 lbs

### 48 フェーダーのスタジオ / ライブ向けバージョン

- 寸法 : 1343×820×380 mm / 52.9×32.3×15.0"
- 重量 : 56 kg / 123.5 lbs

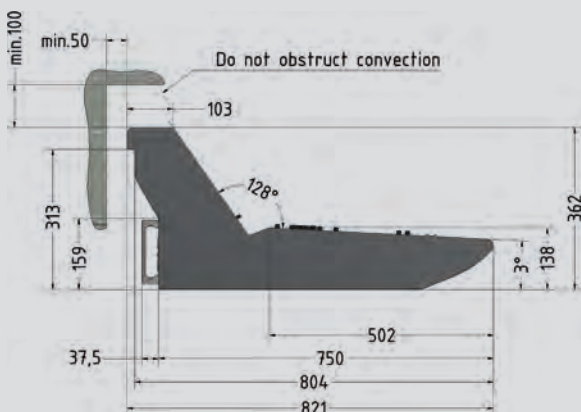
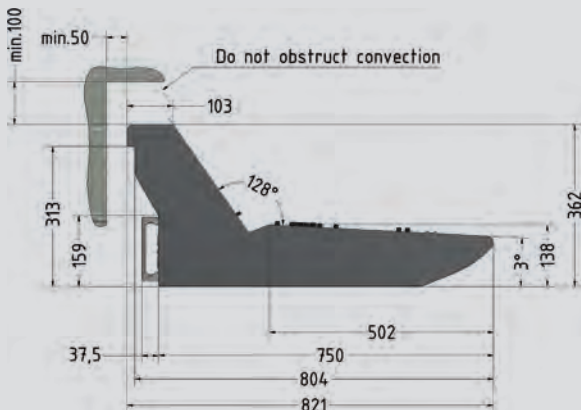


1275<sup>±1.5</sup> (OB Truck version)

1343<sup>±1.5</sup> (Studio/Live version)



## OB TRUCK VERSION



### 16 フェーダーの中継車向けバージョン

- 寸法：765×821×362 mm / 30.1×32.3×14.3"
- 重量：37 kg / 81.6 lbs

### 32 フェーダーの中継車向けバージョン

- 寸法：1275×821×362 mm / 50.2×32.3×14.3"
- 重量：53 kg / 116.9 lbs

### 48 フェーダーの中継車向けバージョン

- 寸法：1275×821×362 mm / 50.2×32.3×14.3"
- 重量：55 kg / 121.3 lbs

## コントロール・パネル

- 16、32、48 フェーダーのフレーム
- それぞれが2つのレイヤーを持つ6つのバンク
- 100 mm フェーダー + 機能割り当て式ロータリーノブ 1 個 + タッチセンスでモジュール表示が変わる各フェーダー用のチャンネルディスプレイ  
(48 フェーダーバージョン：同上 ×32、左上半分内に 60 mm フェーダー、入力ゲインエンコーダー、チャンネルディスプレイ ×16)
- TFT メーター表示：、バス割り当て、ダイナミック用ゲインリダクション、AfV ステータス、VCA 割り当て、ミックスマイナス、信号パッチング、メーター選択、Automix ステータスを含むモノ / ステレオ / イマーシブ
- 例えば外部モニター上でのメーター表示に使える GUI ページ出力
- 10 個のセントラルユーザーボタン、2 個のセントラルユーザーエンコーダー、1 個のトークバックボタン、それぞれ 8 つの機能を持つ 2 個のフェーダーユーザーボタン
- オプション：台本用トレイ、ダイナミック TC オートメーション

## 信号処理

- 40 ビット浮動小数点
- 256 DSP チャンネル (入力とバスの数は A\_\_UHD Core と構成に依存します)、9.1.6 までのイマーシブオーディオのサポート
- A/B 入力付きの最大 240 入力、最大 128 個の AUX バス、最大 96 個のグループ、最大 96 個のメイン SUM、バーチャルミキサー毎に最大 32 個の Automix グループ、メーター表示付きの最大 128 個の VCA グループ、256 個の GP チャンネル
- サポートする全イマーシブチャンネル用の 3D マルチチャンネルダウンミキシング
- モノ / ステレオ / サラウンドへの素早いチャンネルおよびバス切替
- AFL×2：イマーシブ 24 チャンネル ×1、ステレオ ×1
- PFL ステレオ ×2
- 255 個のイベント、Ember+ や GPI やマトリックス接続を介する制御、10 秒までのフェード時間エンベロープを備える Audio-follows-Video
- Solo In Place
- 5 つの独立したダイナミクスモジュール：エクスパンダー、ゲート、コンプレッサー (パラレルコンプレッションを含む)、リミッター、ディエッサー；イメージ、メーター、ダイレクトアウト；マルチチャンネルプロセッシング
- チャンネルディスプレイ内で選択可能なメーターポイント：INPUT、PF、AF、DIROUT、TRACK
- EBU R128 と ATSC A/85 に準拠したラウドネスメータリング。各チャンネルにはモーメンタリーまたはショートタームを、サミングチャンネルには平均測定を行い、平均 LUFS 値をヘッドラインに表示
- モジュール：MS デコーダー付き INMIX、デジタルアンプ、2 バンド・フルパラメトリック・フィルター、4 バンド・フルパラメトリック EQ、2 バンド・フルパラメトリック・サイドチェーンフィルター、インサート、1,800 ms までのディレイ (単位をメートル / ミリ秒 / フレーム間で切替可能)

# mc<sup>2</sup>36 xp

## SPECIFICATIONS

### 音声のハンドリング

- HOME – ネットワークリソースをダイナミックにサポートするルーティング
- RX および TX 音声用内部マトリックス
- 最大 512 の RX および TX ストリーム
- 1 ~ 128 音声チャンネルまでのストリームサイズ
- 最高 96 kHz、24 ビット
- イマーシブオーディオからステレオへのダウンミキシング
- 例えばディレクターの部屋のような離れた場所用のモニタリングデバイスを統合
- 1,016 個の内部ループバック
- マトリックスや DSP のサイズからは独立したスナップショットとプロダクションの可搬性

### Waves® プラグインの統合

- プラグインのパラメーターをスナップショットおよびプロダクション・データ内に保存する Waves SuperRack SoundGrid® の統合

### インターフェイス

- Mic/Line In、Line Out、AES3、MADI、ST2110-30/-31 / AES67 / RAVENNA、DANTE®, GPIO、MIDI
- ヘッドフォン

### 同期

- ブラックバースト\*、ワードロック、PTP スレーブおよびグラントマスターモード

### リダンダンシー

- 電源ユニット、ネットワークインターフェイス (SMPTE ST2022-7 クラス C)

### 制御ユニット

- グローバルな A/B/C 入力切替
- 独立したオフエアカンファレンスを持つ強化されたミックスマイナス制御
- 全レベルパラメーターのフェーダー制御
- 多様なタリーとフェーダースタートモード
- プログラム切替
- DAW マシンコントロール
- Audio-follow-Video、最大 128 個のカメラタリー、イーサネットまたは GPI 制御
- GPI または電圧制御によるカメラマイクのリモート

### リモートメンテナンス

- mxGUI リモートソフトウェアを介する接続
- ソフトウェアの更新、エラー診断、リモートアシスタンス

### 外部制御システム

- ルーティングとマトリックス監視ユニットとチャンネルパラメーターの Ember+ 制御プロトコルを介するリモートコントロール
- mxGUI : Windows®/Android あるいは macOS/iOS ラップトップおよびタブレットを介するリモートコントロール
- 外部マトリックスコントローラー : Lawo VSM、EVS Cerebrum、Broadcast Solutions Hi、GV Ignite、Ross Overdrive & Acuity、Vizrt Viz Mosart 等

\* ) ブラックバーストは将来のハードウェア改訂によってサポートされます。



# mc<sup>2</sup> FAMILY COMPARISON CHART

機能	mc <sup>2</sup> 36 MkII	mc <sup>2</sup> 36xp	mc <sup>2</sup> 56	mc <sup>2</sup> 96
最大フェーダー数	16、32、48		16 ~ 144*	24 ~ 200*
フェーダー	LAWO 高性能フェーダー			LAWO 高品質フェーダー
最大 DSP チャンネル数	256		1024	
チャンネルディスプレイ数	最大 2		最大 4	2 以上
コンソールのコア	A__UHD 技術を内蔵		A__UHD Core (外部)	
外部 A__UHD Core VMixer Slice の使用	×		○	
タッチスクリーン	PCT 精密容量センシング技術搭載 HD			
ストリップ毎のフリーコントロール数	1**		4	6
マルチユーザー運用	×		○	
-フェーダーベイ毎のロータリー数	32		80	112
-ローカルなセーフ/リコール	○		×	○
LiveView™	○		○	
ローカル入出力	○		○	
-ローカル入出力コネクタ	XLR		D-sub	XLR
-ST2022-7 ローカル入出力リダンダンシー	内蔵	非リダンダント	リダンダント	
ユーザーパネル数	n/a		2 (RTW なし) 1 (RTW TM7 付き) 0 (RTW TM9 付き)	2 + RTW TM9
ネイティブな 3D 音声制御	○		○	
パラレルコンプレッション	○		○	
シーケンスオートメーション (Cue List)	○		○	
ダイナミック TC オートメーション	オプションのライセンス		○	
ユーザーパネル/スタンドのサポート	×		○	
MCX リダンダンシーのサポート	×		○	
DSP リダンダンシーのサポート	×	○		

\*) デュアルフェーダー・オプション搭載時    \*\*) mc<sup>2</sup>36xp-32 および mc<sup>2</sup>36MkII-32 のみ

# mc<sup>2</sup> 36 XP

SMALL FOOTPRINT  
WELL CONNECTED

© 2023 Lawo AG. All rights reserved. Windows is a registered trademark of Microsoft Corporation. Other company and product names mentioned herein may be trademarks of their respective owners. Product specifications are subject to change without notice. This material is provided for information purposes only; Lawo assumes no liability related to its use. As of September 2023.

**OTARITEC**

オタリテック株式会社  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16  
Tel 03-6457-6021 [www.otaritec.co.jp](http://www.otaritec.co.jp)

外観・仕様は予告なく変更されることがあります。  
Japanese translation © 2023 Otaritec Corporation